

独立行政法人酒類総合研究所契約監視委員会

平成 25 年度第 1 回定例会議審議概要

開催日時	平成 25 年 5 月 16 日（木）～平成 25 年 5 月 29 日（水）	
開催場所	持ち回り開催	
委員名簿	委員長 椿本雅朗（研究所監事 公認会計士） 委員 瀧 敦 弘（広島大学大学院社会科学研究科教授） 委員 田 邊 尚（弁護士） 委員 沼野伸生（研究所監事） 委員 二村博司（広島大学大学院社会科学研究科教授）	
審議事項	1 平成 25 年度契約監視委員会委員長の選任 2 平成 24 年度下半期分の契約内容の審議等	
抽出案件（内訳）	10 件	（案件の審議） 左記の抽出案件について審議を行った。
競争性のない随意契約	1 件	
競争性のある随意契約	1 件	
一者応札	1 件	
その他	9 件	
委員会からの意見の具申等	特になし。	
1 平成 25 年度契約監視委員会委員長の選任		
各委員の互選により、椿本雅朗氏が委員長に選任された。		
2-(1) 平成 24 年度下半期の契約内容の審議（その他）		
契約件名	意見・質問	回答等
2013 年 外国雑誌（Elsevier）の購入	落札率が高く競争性が十分に反映されたものとは言えないが、調達対象物品の市場状況からやむを得ない。	引き続き調達対象の絞り込み、仕様の改善等を検討していきたい。
2013 年 外国雑誌（Springer）の購入	落札率が高く競争性が十分に反映されたものとは言えないが、調達対象物品の市場状況からやむを得ない。	引き続き調達対象の絞り込み、仕様の改善等を検討していきたい。
2013 年 外国雑誌（Nature Pub.）の購入	落札率が高く競争性が十分に反映されたものとは言えないが、調達対象物品の市場状況からやむを得ない。	引き続き調達対象の絞り込み、仕様の改善等を検討していきたい。

契約件名	意見・質問	回答等
高周波誘導結合プラズマ質量分析装置(ICP-MS)の調達	落札率が非常に高いのはなぜか。	専門性の高い機器であり、取扱いメーカーが限られ、算定した予定価格に近似の金額になったものである。
安定同位体比質量分析システム用炭素・窒素・水素同位体比測定対応ガスクロマトグラフ前処理装置の調達	落札率が非常に高いのはなぜか。	専門性の高い機器であり、取扱いメーカーが限られ、算定した予定価格に近似の金額になったものである。
醸造用酵母ゲノムリシーケンス解析業務の委託	前年度に比べ金額が低くなっているのはなぜか。また、落札率が低いが履行は適切になされたのか。	解析件数の減少により前年度より契約金額は下がっている。業務の履行には問題はなかったが、引き続き入札参加者への業務内容の説明を十分に行うとともに、業務管理等を適切に行う。
インターネットサーバの購入	公告期間が年末・年始の繁忙期であること及び仕様書の作成等について、改善の余地があったのではないか。	公告期間を更に増やすなど、入札参加の環境整備について、改善を検討していきたい。
排水処理設備の沈殿槽内部装置及び周辺機器の更新工事	応札者が2者と少ないのは、設備の特殊性が原因であるか。工事の実施時期が年度末に近いと考えられ、工事計画の策定など、改善の余地はなかったか。	排水の殺菌処理を要するなど、排水設備が特殊な仕様となっており、取扱い業者は限定される。工事終了が年度末となっており、計画的な工事の実施に努めていきたい。
高感度化学発光及び透過光・蛍光発光撮影解析装置の調達	落札率が非常に高いのはなぜか。	専門性の高い機器であり、取扱いメーカーが限られ、算定した予定価格に近似の金額になったものである。
2-(2) 平成24年度上半期の契約内容の審議(競争性のない随意契約)〈追加分〉		
契約件名	意見・質問	回答等
SciVerse Scopusの利用	条件等から供給可能な者が一者しかおらず、随意契約によらざるを得ない契約であるため、見直し点はない。	